

2019年度事業報告書

期間:2019年1月1日～2019年12月31日

愛知県名古屋市中区三の丸1-7-2 桜華会館 愛知県聴覚障害者協会内

特定非営利活動法人 日本デフバスケットボール協会

副理事長 須田将広 (理事長代理)

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会は、全国におけるデフバスケットボールの普及及び振興を図り、選手の育成とそのレベルアップを図るとともに、デフバスケットボールを通して、人類全体の健康増進と国際交流に寄与することを目的とし、次の特定非営利活動に関わる事業につき法人格取得前より実施してきた各事業の一部又は全部を、昨年度に引き続いて継続して実施した。

＜法人事業全体として2019年度の振り返り＞

- ・2019年度総会において役員改選を実施し、須田 将広氏、坂本 武彦氏、三宅 浩史氏が新たに就任した。
- ・JXTGエネルギー株式会社様と協賛契約を締結した。

2 事業の実施に関する事業

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
競技会の開催及び運営事業	第17回ミミリーグ	H31.3.30～3.31	葛飾区水元総合スポーツセンター	8名	全国のJDBA会員 その他
競技会の開催及び運営事業	第8回JDBA東日本大会	R1.5.25～5.26	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール	7名	全国のJDBA会員 その他
〃	第8回JDBA西日本大会	R1.6.8～6.9	愛・地球博記念公園 モリコロパーク体育館	8名	全国のJDBA会員 その他
〃	第6回理事長杯全日本デフバスケットボール選手権大会	R1.10.19～10.20	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール	11名	全国のJDBA会員 その他
選手強化事業(男子)	第1回男子日本代表強化合宿	H31.4.13～4.14	神戸医療福祉大学	1名	デフバスケ日本代表選手及びスタッフ14名
〃	第2回男子日本代表強化合宿	R1.6.1～6.2	ノーリツアリーナ和歌山	1名	デフバスケ日本代表選手及びスタッフ15名
〃	第3回男子日本代表強化合宿	R1.9.14～9.15	大阪府立北摂つばさ高等学校 大阪府立今宮高等学校	1名	デフバスケ日本代表選手及びスタッフ15名
〃	第4回男子日本代表強化合宿	R1.10.5～10.6	ノーリツアリーナ和歌山	1名	デフバスケ日本代表選手及びスタッフ15名
〃	第5回デフバスケットボール世界選手権	R1.9.23～7.8	ポーランド・ルブリン	1名	デフバスケ日本代表選手及びスタッフ14名
選手強化事業(女子)	第3回トライアウト	H31.1.19-1.20	パナソニックアリーナ	1名	デフバスケ日本代表選手及びスタッフ14名
〃	第1回女子日本代表強化合宿	H31.3.16-3.17	パナソニックアリーナ	1名	デフバスケ日本代表選手及びスタッフ14名
〃	第2回女子日本代表強化合宿	H31.4.13-4.14	パナソニックアリーナ	4名	デフバスケ日本代表選手及びスタッフ14名
〃	第3回女子日本代表強化合宿	R1.5.11-5.12	石清水八幡宮青少年文化体育研修センター	4名	デフバスケ日本代表選手及びスタッフ15名
〃	第4回女子日本代表強化合宿	R1.6.22-6.23	パナソニックアリーナ	3名	デフバスケ日本代表選手及びスタッフ15名
〃	第5回デフバスケットボール世界選手権	R1.6.24-7.8	ポーランド・ルブリン	3名	デフバスケ日本代表選手及びスタッフ15名
全国等への広報事業	HP作成及び更新	通年	全国	1名	全国のJDBA会員 その他

ア国際競技会を含む競技会の開催及び運営に関する事業

[第17回全国デフバスケットボール大会(東京ミミリーグ)]

- (目的) デフバスケットボールを通して、全国から聴覚障がいの有無に関わらず様々な人が集い、同じコートに立ち切磋琢磨しあうと共に、交流を深め相互理解を図ることを目的とする。
また、地域との連携および交流の機会を図りデフバスケットボールの普及・発展に努める。
- (事業内容) 加盟チームが男女別に競いあい、リーグ戦及びトーナメントを開催。
- (特記) 男子14チーム、女子6チームが参加し、男子は誠familyが四連覇、女子はEMERALDが初優勝を飾った。

[第8回JDBA東日本大会]

- (目的) ゲームを通して選手、審判、テーブルオフィシャル(以後、TOとする)などの技術を向上させることにより人材育成を図り、デフバスケットボールの普及、発展を図る。
- (事業内容) 参加チームで試合、TOを行った。

[第8回JDBA西日本大会]

- (目的) ゲームを通して選手、審判、テーブルオフィシャル(以後、TOとする)などの技術を向上させることにより人材育成を図り、デフバスケットボールの普及、発展を図る。
- (事業内容) 参加チームで試合、TOを行った。

[第6回理事長杯全日本デフバスケットボール選手権大会]

- (目的) 東日本及び西日本の勝者チームによるNo.1のチームを決定するとともに、デフバスケットボールの普及・強化を図る。
- (事業内容) 各大会上位チームによるトーナメント戦を実施。
- (特記) 各チームの技術向上に対する努力の姿勢がみられ、競技力の向上につながった。
優勝及び準優勝チームには2020年11月に開催される第5回アジア太平洋クラブカップへの出場権を付与し、男子は前回アジア覇者の誠family(大阪)、inspire(愛知)、女子はEMERALD(福岡)が出場予定。
また、本大会において協賛企業JXTGエネルギー株式会社様よりタオルを贈呈いただき、参加者全員に配布した。

イ競技者の強化育成に関する事業

[男子日本代表強化合宿 / 第5回デフバスケットボール世界選手権]

- (目的) 第5回デフバスケットボール世界選手権 代表選手選考とともに上位入賞を目指し強化合宿を実施する。
- (事業内容) 世界で戦うための体力及びスキルトレーニングを中心とし、世界で通用するチーム作りを行った。2019年6月第5回デフバスケットボール世界選手権(ポーランド)にて15カ国中ベスト11の成績を残した。フェアプレー賞を受賞した。

[女子日本代表トライアウト・合宿 / 第5回デフバスケットボール世界選手権]

- (目的) 第5回デフバスケットボール世界選手権 代表選手選考とともに上位入賞を目指し強化合宿を実施する。
- (事業内容) 世界で戦うための体力及びスキルトレーニングを中心とし、世界で通用するチーム作りを行った。2019年6月第5回デフバスケットボール世界選手権(ポーランド)にて10カ国中ベスト7の成績を残した。

ウ全国並びに国民に対する広報に関する事業

- (目的) 当協会の活動内容を国民へ広く伝えるために、公式サイト、他団体の機関紙などを通じて宣伝広報する。
- (事業内容) インターネットを通して会員及びその他の人々に向けて公式サイトにて情報発信を行った。
- (特記) 公式サイト <http://jdba.sakura.ne.jp>
FacebookやTwitter、Instagramにて公式アカウントによる情報発信を行った。
ONE BASKETBALL PROJECTと連携し、メディア:BASKETBALL KING(株式会社フロムワン)様のホームページ及びSNSにてデフバスケの情報を定期的に発信いただいた。

エ 審判員の養成に関する事業

- (目的) バスケットボール競技規則の一部変更等の情報をJDBAのHPなどを通じて情報提供でき、アンケートで会員の情報を収穫し、JBA主催審判講習会で聴覚障害者を対象にした審判講習会を実施できるようJBAと連携を図り、計画を立てる
- (事業内容) 2019年度のJDBA主体での活動実績がなく、理由としてはデフに向けた審判講習会の準備や計画が出来ていなかったためと考える。来年度はデフで審判ができる方、例えば篠原雅哉氏を講師として招いて講習会を開くことを検討していく。

オ 会議の開催に関する事項

(ア) 総会

[1] 第1回総会

- (開催日時及び場所) 平成31年3月30日(土) <葛飾区水元総合スポーツセンター>
- (議題) ①2018年(平成30年)度事業報告及び会計報告
②定款変更及び役員改選
※途中中断

[2] 臨時総会

- (開催日時及び場所) 平成31年4月21日(日) <東京都障害者総合スポーツセンター>
- (議題) ①2019年(平成31年)度事業計画及び会計予算報告

(イ) 理事会

[1] 第1回理事会

- (開催日時及び場所) 平成31年2月16日(土)～17日(日) <福岡市南市民センター>
- (議題) ①総会関連
②役員改選
③会計関連

[2] 第2回理事会

- (開催日時及び場所) 令和元年7月28日(日) <さだ生涯学習市民センター>
- (議題) ①組織体制見直し
②会計関連
③契約関連

[3] 第3回理事会

- (開催日時及び場所) 令和元年10月19日(土) <障害者スポーツ文化センター>
- (議題) ①新役員関連

[4] 第4回理事会(臨時)

- (開催日時及び場所) 令和元年12月10日(火) <株式会社 宝 来賓室>
- (議題) ①今後の体制について(5理事一斉辞任)
②規定変更関連
③引継関連
④法的措置
⑤2020年度会員募集開始